

Healinglights

冬の寒さが和らぎ、寒さの中にも春の香りがする季節になりました。梅の香、沈丁花の匂いが漂い、桜がほころび始めると、気持ちも穏やかになる気がします。「桜」と名のつく歌も沢山ありますが、今回は「桜が散りゆく様子」を感じる曲をご紹介します。

- ①さくら(森山直太朗)「さくらただ舞い落ちるいつか生まれ変わる瞬間を信じ」「さくらさくら今咲き誇る刹那に散りゆく運命と知って」
- ②さくら(ケツメンイシ)「さくら舞い散る中に忘れた記憶と君の声が戻ってくる」「花びら舞い散る記憶舞い戻る」
- ③桜(コブクロ)「桜の花びら散るたびに思い届かぬ思いがまた一つ」
- ④SAKURA(いきものがかり)「さくらひらひら舞い降りて落ちて揺れる想いのたけをだきしめた」

たった3、4日のために寒い冬を越して一斉に咲き、あっという間に散っていく桜に、日本人独特の感性を感じます。日本人は詩人ですね。

エドこまにあ

前回作成した石粉粘土のオブジェが完成しました。乾燥→色付けと時間はかかりますが、出来上がったときの喜びはひとしおです。

皆さんの大作、廊下にあるアクリルケースに移し、利用される方々に見てもらおうと思います。

そして現在取り組んでいるのが、折り紙やひもなどを自由に使ったコラージュです。コラージュは無心になって次々手を動かします。考えないで感覚でどんどん手を動かすと思ってもよらない作品ができあがるそうです。なかには出来上がりをラフで描き、それに沿って取り組む方もいて、皆さんの作業の様子自体がそれぞれ作品に見えます。

出来上がりをおたのしみに。



しんごう

3/10に調布にてフットサル大会が行われました。今回の大会は、精神障害者のみならず健常者も参加できる大会でした。

開会式では、なんとスペシャルゲストにお笑い芸人のゆっぺいが登場し、場が盛り上がりました。サインボールを4つプレゼントして下さり、上位3チームと下位1チームが貰えます。

チームミナル(ラブこま)は、総当たり戦で下位3位になりそこから順位付けトーナメントをおこないました。戦力のスタッフも午後から参加し、トーナメント戦では、2勝することができました。残念ながらゆっぺいボールはゲット出来ませんでしたが、怪我人もせず、楽しく試合をすることができました。



セルフヘルプ

今回のセルフヘルプは、マスクとシールドについてお話ししたいと思います。こまつがわでは、テーブルごとにシールドがあり面談室にもシールドがあります。麻雀卓にもシールドがあります。来所時にはマスクの着用もお願いしています。

そんな中、3月中旬からマスクの緩和がされたとニュースで言っていました。コロナが流行し3年、マスクで慣れた生活が、今度はマスクなしの生活に戻ると…。想像できますか？

こまつがわでは、どの様にマスクやシールドなどの対策をしていくのがまだ明確ではないのですが。毎度の茶話会でメンバーからは、もうシールドはいいのでは？という声も上がって来ています。

シールドのメリットは、もちろん飛沫感染の防止、デメリットは、会話がしにくい。などがあります。

お店・交通機関・公共施設では、もう当たり前前にシールドがありますね。いっぺんに無くなることは無いと思いますが、インフルエンザと同じ扱いになるならば、3年前の日常が戻ってくることになります。

マスクも外せるようになったら、みなさん外しますか？自己判断になると思います。スポーツをやる時もこの時期になると暑くて苦しいです。

皆さんはどうされますか？
皆さんのご意見お待ちしております。